

市民フォーラム

AED導入10年目プロジェクト

＼使おう！



AED導入10年目プロジェクト

減らせ突然死

減らせ突然死～使おうAED～

心肺蘇生法教育の現状と学校教育導入の課題を考える

入場無料



日時

平成26年7月5日(土)

受付開始12:00 フォーラム13:00～15:30

会場

愛知県芸術文化センター12階
アールスペースA

住所:名古屋市東区東桜一丁目13番2号

定員

180名 **先着**

申込状況は、HPでお知らせします。
<http://www.secdem.jp/>

来賓

河村たかし(名古屋市長)(予定)

プログラム

■基調講演

田中秀治(国土舘大学体育学部スポーツ医科学科教授)

■パネルディスカッション

◇コーディネーター

矢野きよ実(パーソナリティ・書道家)

石見 拓(京都大学健康科学センター准教授)

◇パネラー

桐淵 博(埼玉大学教育学部教授、前さいたま市教育長)

桐田寿子(ASUKAモデル作成のきっかけとなった桐田明日香さんのご家族)

牛田 尊(愛知万博会場で心停止となったが来場者によりAEDが使用され、救命された)

下田一幸(名古屋市教育委員会教育長)(予定)

田中秀治(国土舘大学体育学部スポーツ医科学科教授)

■胸骨圧迫とAEDを学ぶ簡易講習会の体験

主催：特定非営利活動法人 愛知万博記念 災害救急医療研究会

共催：減らせ突然死プロジェクト実行委員会

協力：特定非営利活動法人日本蘇生普及協会

後援：愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会(以上、申請中)

各位

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 16 年 7 月、それまで医師などの医療従事者にしか認められていなかった A E D の使用が一般市民にも認められることとなりました。

翌年 3 月に開幕した愛知万博では約 100 台の A E D が会場随所に配置され、A E D を使用した多くの救命例は「愛知万博の奇跡」としてマスコミでも大きく取り上げられたところです。

その後、A E D の設置は全国に進み、多くの尊い命が今も A E D により救われています。しかし、近くに A E D があってもかかわらず使用されなかった事例も残念ながら報告されています。平成 23 年 9 月、埼玉県の小学校 6 年生の桐田明日香さんは学校で駅伝の練習中、突然倒れ、近くに A E D があってもかかわらず使用されることなく、若い命を失うこととなりました。さいたま市では事故を検証し、体育活動時等における事故対応テキストとして A E D を使用して命を救う『A S U K A モデル』を作成し、学校現場での導入が始まっています。

私達は A E D の使用が一般市民に認められてから 10 年を迎えた節目を記念し、「減らせ突然死プロジェクト」の一環として市民フォーラムを開催する運びとなりました。この市民フォーラムでは「心肺蘇生法教育の現状と学校教育導入の課題を考える」をテーマとし、教育現場の現状を共有した上で、A E D ・心肺蘇生法教育を普及する具体的な方策等を議論し、提案してまいりたいと考えております。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

特定非営利活動法人 愛知万博記念 災害・救急医療研究会
理事長 野口 宏



(切り取らずにこのまま送付ください。)

市民フォーラム申込書(ファクシミリ)

ファクシミリ番号 0561-78-6235

(特定非営利活動法人 愛知万博記念 災害・救急医療研究会事務局行)

氏名(代表者)	
所属又は在住市町村	
参加者数	人

メールでのお申し込みも可能です。

①氏名、②所属又は在住市町村、③参加者数を記入のうえ、以下まで送信してください。

Eメールアドレス info@secdem.jp